

「秋のハーブ」開催によせて

マルセル・グランジャーニーは、私の「秋のハーブ」での演奏曲数ナンバーワン作曲家です。ダイナミックな響きとハーブの活かし方が魅力です。今回は、心豊かに落ち着ける「ハーブとオルガンの為の古典様式のアリア」を取り上げ、オルガニストの工藤羊子さんに出演していただきます。オルガン独奏もお願いいたしました。

「ポジティブオルガン」と言うと「前向きでポジティブなの???」とよく尋ねられます。ホールや教会と一体化したパイプオルガンとは違う「置くことのできる、移動可能な」パイプオルガンという意味です。一列の手鍵盤だけですが素敵な響きを持っています。低音パートはチェリストの山田慶一さんが引き受けてくださいました。

今回の「秋のハーブ」はミニコンサートではなく初めての二部構成です。グランジャーニーから連想したレスピーギ（リュートのための古風な舞曲とアリア）、そこからイタリアや古風にふくらみを持たせ、工藤さんと再演する曲もあります。

秋の日の午後、どうぞお出かけください。明るくて切なくて、心にしみわたる響きをお届けします。

武川 奈穂子

プロフィール



ハーブ／武川 奈穂子

横浜出身。桐朋学園大学卒業、在学中にパリ国立高等音楽院に2年間留学。大学卒業時に新人演奏会、読売新人演奏会、日本演奏連盟推薦新人演奏会に出演。

第4回日本ハーブコンクール・プロフェッショナル部門第3位入賞、マリア・コルチンスカ国際ハーブコンクール(イギリス・マン島)特別賞受賞。第4回世界ハーブ会議(フランス・セーヴル)出演。札幌市民芸術祭奨励賞受賞。

札幌コンサートホール Kitara にて「21世紀への懸け橋」シリーズ(全3回)を開催、また2016年から「秋のハーブ」シリーズを開始しハーブの魅力を伝える。道内各地で演奏・吹奏楽部へのハーブ指導を行い、近年鍵盤楽器演奏にも活動の幅を広げている。

井関楽器音楽教室講師、札幌音楽家協議会会員、麻生教会オルガニスト。札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師。



オルガン／工藤 羊子

尚美高等音楽院ピアノ専攻、フェリス女学院短期大学音楽科オルガン専攻を卒業後、ウィーンアカデミーオルガン科、ロベルト・シューマン音楽大学教会音楽科へ留学、オルガンを島田麗子、R.シヨルツ、A.レースラーの各氏に師事。また、ドイツ・ミュールハイム・マルクス教会音楽主事として、7年間オルガン奏楽、聖歌隊を指揮し、ドイツ各地にて活躍した。

日本オルガニスト協会、札幌音楽家協議会、各会員。札幌グロリアコール団員。



チェロ／山田 慶一(友情出演)

新潟大学及び国際スズキ・メソッド音楽院を卒業。エマ・フェランド、ジャン・ギアン＝ケラス、ミクローシュ・ペレーニの公開レッスンを受講。

これまで世界的に活躍するチェロ奏者の林峰男氏やフルート奏者のフェリックス・レングリ氏、フィリピン・フィルハーモニック管弦楽団等と共演。A.ピアラン作曲のソナタとピアノ五重奏曲を日本初演。

現在スズキ・メソッド・チェロ科指導者、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師を務めている。

新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いします。



マスク着用



手指消毒



体温チェック



ソーシャルディスタンス